資料 5

「知財創造教育」の取組状況について

2020年2月17日 内閣府 知的財産戦略推進事務局



新しい 創造 をする

(「いいな」を思い描き実現する)

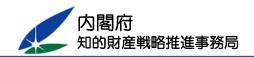
創造されたものを 尊重 する

(他人との違いを認め尊重する)





- **国が**知財創造教育の必要性等を示すとともに、各地域で知財創造教育 を実施するための**枠組み作りを支援**
- 各地域では、その枠組みも活用して地域社会と連携しつつ現場の先生が工夫して知財創造教育を実施



「ピクトグラム」づくりにちょうせん! ~だれにでもわかるようにつたえよう~

台東区立上野小学校

- 非常口のマークでお馴染みの絵文字「ピクトグラム」、 1964年東京オリンピックが発祥で今では世界的に普及
- 国語の授業でピクトグラムを学習後、学校で起きている困った ことを解決するためのピクトグラム作りに挑戦
- 各生徒がピクトグラムを作成した後、グループワークでお互い の良い点を指摘し、各班のピクトグラムを作成・発表





発明は才能でなく技術。「発明楽」で自由な発想を!

◆ - ★ ÷ 鳥取大学医学部植木教授による授業

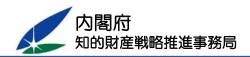
- 発明を生み出す発想スキルとして、①+たし算、②-ひき算、
 ③×かけ算(転用)、④÷わり算(逆転)の四則演算のアイデアを用いた手法を提案。
- 授業では、生徒達に発明をしたいという気持ちや、大きな夢を もってもらえるよう、"新しいものを創造する楽しさ"を実感で きる授業を実施。

(参考: https://www.med.tottori-u.ac.jp/hatsumeigaku/)









知財創造教育推進コンソーシアム (平成29年1月設立)

共同会長

竹本直一 知的財産戦略担当大臣 出口利定 日本教育大学協会 会長(東京学芸大学 学長) 山本正已 日本経済団体連合会 知的財産委員会 委員長 (富士通取締役シニアアドバイザー)

推進委員会

検討の方向性の指示検討結果の報告

検討委員会

支援

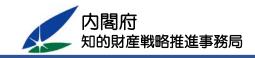
地域コンソーシアム

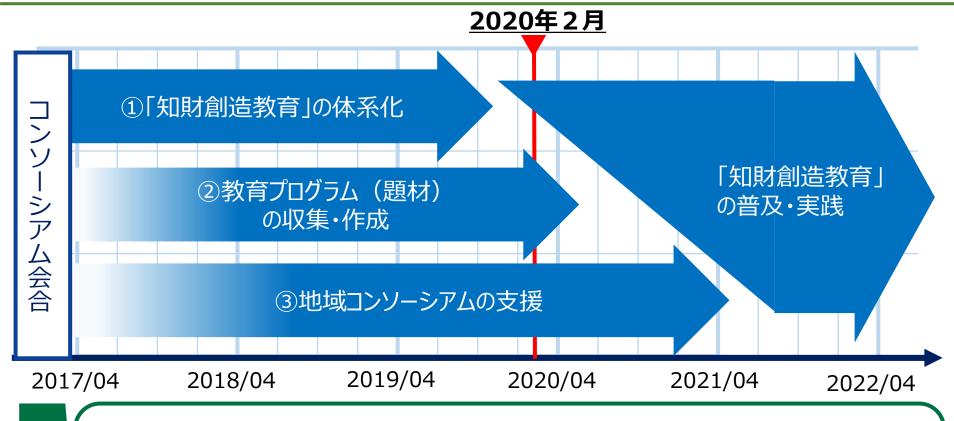
- 地域社会と一体となった知財創造教育を展開するために各地域に構築
- 各地域において小中高等学校における実証授業を実施
- 各地域の取り組みを調査し、地域主体の地域に根差した取組に移行

北海道、中部、近畿、九州(2017年度に立ち上げ) 東北、関東、中国、四国(2018年度に立ち上げ)

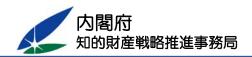


知財創造教育の取組状況の概要





- 取組状況
- ① 体系化された知財創造教育の考え方について普及・啓発を推進
- ② 教育プログラムの収集・公表。教員が自主的に開催している研究会と連携した教材の開発。秀逸な教材・取組等を表彰する仕組みの構築に向けた検討
- ③ 全国8地域について、地域に根差した地域コンソーシアムの構築に向けて2019年9月より調査事業を開始。年度内に各地域で2回の会合と、実証授業を開催予定



教員に向けた取組

- > 公開形式の実証授業開催
- 教育プログラムの収集・作成
- ▶ 大学での知財創造教育に関する授業実施の促進
- 教員が自主的に開催している研究会と連携した学習指導案の作成(実施中)
- 教員免許状更新講習における「知財創造教育」に関する講座の実施(検討中)

普及に向けた環境醸成に関する取組

- ▶ メディアを活用した普及
- 学会やイベントでの講演・ブース出展
- 知財創造教育パンフレットの配布
- 知財創造教育の教育効果の測定(試行中)
- 秀逸な教材や取組を表彰するための制度構築(検討中)





8月7、8日「こども霞が関見学デー」に出展

教育プログラムの収集・作成の取組状況



教育プログラムの収集状況(継続して実施中)

- ▶ 産学官の賛同者から、210の教材、176の工場等見学、144の出前授業を収集
- ➤ 校種や科目による絞り込み、キーワード検索機能などを備えてHPで公表

学習指導要領と紐づいた教育プログラム



教材提供いただいた団体

団体名	プログラム数		団体名	プログラム数	
凹体石	小・中学校	高等学校	凹体石	小·中学校	高等学校
特許庁	6	5	キヤノン株式会社	9	3
北海道経済産業局	1	1	CUBIS Project	1	1
関東経済産業局		1	一般財団法人日本規格協会	1	1
中部経済産業局	1		山口大学	21	
沖縄総合事務局	1		東京学芸大学	3	3
文化庁	7	5	東京学芸大学附属世田谷中学校	1	
公益社団法人著作権情報センター	10	10	東京学芸大学附属竹早中学校	1	
日本文藝家協会		2	秋田大学教育文化学部附属小学校	2	
一般社団法人日本音楽著作権協会	4	3	新潟大学教育学部附属新潟中学校	1	
(独) 工業所有権情報・研修館	1	1	広島商船高等専門学校	1	2
日本弁理士会	37	30	仙台高等専門学校		1
刈谷少年少女発明クラブ	3		北九州高専		1
日本行政書士会連合会	5	3	都城工業高等専門学校		1
日本放送協会	12		発明推進協会	3	
東レ株式会社	4	·	小計	136	74
			合計	210	



今年度調査の目的

昨年度の調査結果を踏まえ、全国をカバーする8地域でパイロット的に立ち上げているコンソーシアムを、地域に根差した地域主体の取組とするための方策等を検討

- ・北海道、中部、近畿、九州(2017年度から立ち上げ)
- ・東北、関東、中国、四国(2018年度から立ち上げ)

今年度調査の内容

- 各地域で6名以上の委員からなる「地域コンソーシアム」を構築・運営し、会合を開催して 下記について検討する
- 教員が「知財創造教育」に主体的に取組むための環境整備
- (先行4地域について)次年度以降における地域に根差した地域主体の「地域コンソーシアム」の構築
- ○「実証授業」における授業内容
- 特定の才能に秀でた尖った人材が才能を伸ばし、活躍するための場や取組
- 教育プログラム等に基づき、各地域内の学校等において児童・生徒向けに実証を実施する と共に、知財創造教育の説明会と意見交換会を開催する

地域コンソーシアムを通じた今年度の実証授業



実証授業の開催時期・内容

地域	実施校	開催日	時間 (説明会・意見交換会含む)	対象	科目	内容		
北海道	札幌市立宮の丘中学校	2月12日	13:35~15:25	中学2年生	美術科	マークのデザイン作成		
東北	宮城教育大学附属中学校	3月開催で調整中						
関東	学芸大附属世田谷中学校	1月23日	10:00~12:30	中学2年生	音楽科	知的財産権教育「知的財産権に関して、当事者として考える」		
中部	愛知教育大学附属高校	1月23日	12:30~14:30	高校2年生	公民科/家庭科	自己責任が果たせる自立した消費者を目指す		
近畿	四天王寺学園高等学校	2月20日	13:25~14:15	高校1年生	物理基礎/情報 の科学	熱エネルギーを利用した発明		
中国	萩市立福栄小中学校	1月23日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の 時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」		
四国	砥部町立宮内小学校	2月3日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の 時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」		
九州	福岡教育大附属福岡小学校	2月10日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の 時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」		